

株主の皆様へ

第76期 中間報告書

2014年12月1日▶2015年5月31日

Contents

- 株主の皆様へ / 代表取締役社長 岩城 修
～ジェネリック医薬品の需要拡大を捉え、
安定供給体制を確保し、積極展開を進めています。～…P1
- セグメント別の概況…P3
- イワキグループ会社のご紹介 vol.1【岩城製薬株式会社】…P5
- 株主様アンケート集計結果のご報告…P7
- 小さな社会貢献活動への取り組み…P8
- 連結財務諸表…P9
- 株式情報…P10

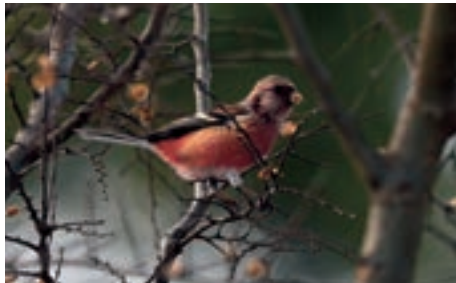
イワキ株式会社

証券コード：8095

● 経営の基本方針 ●

当社グループは、社業を通じ社会に貢献することに誇りと喜びを持ち、「お客様(社会)を大切に思う心を常に忘れない会社」を目指し、提供する商品・サービスを通じ、お客様と常に「感謝し、感謝される関係」を築き、共存共栄することによって、顧客企業の発展と株主の利益拡大に寄与するとともに、社会その他すべての関係者への責任を果たし続けることを経営の基本方針としております。

表紙の写真について



— ベニマシコ —
水元公園(東京都葛飾区)

ベニマシコの雄は全体的に赤色を帯び、雌は黄褐色。雄は夏になると深紅色になり、さらに鮮やかさを増す。表紙の写真は、川嶋次男様(東京都葛飾区在住)の作品をご提供いただきました。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第76期上半期(2014年12月1日から2015年5月31日まで)の事業概況をご報告し、今後の見通しをご説明させていただきます。ご一読の上、当社事業へのさらなるご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年8月

当上半期の営業状況

当上半期のわが国経済は、全般的に景気の緩やかな回復を維持しましたが、円安に伴う輸入原材料価格の高止まりなど、収益環境は不透明な状況が続きました。

そうした中で当社グループは、ジェネリック医薬品の大幅な需要拡大を捉え、安定供給に向けた体制を確保しつつ、顧客への積極的な情報提供と提案営業に努めたことで、医薬品事業および医薬品原料・化粧品原料事業における医療用関連の販売を大きく伸ばしました。また、化成品事業は、国内のプリント配線板向け薬品が堅調に推移し、食品原料・機能性食品事業も、健康維持ニーズの高まりを受けて好調を示すなど、すべての主要事業セグメントで増収を果たしました。

しかしながら利益面では、医薬品事業において、小包装・低薬価品の増産や輸入原料高等による収益性の低下が生じ、化成品事業においても、海外子会社の償却負担等により営業損失を計上したことから、全体では前年同期の実績を下回りました。

ジェネリック医薬品の需要拡大を捉え、安定供給体制を確保し、積極展開を進めています。

以上の結果、当上半期の連結業績は、売上高275億1千6百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益3億9千8百万円(同35.1%減)、経常利益4億9千3百万円(同15.3%減)、四半期純利益2億1千5百万円(同32.5%減)と増収減益になりました。

なお中間配当につきましては、予定通り1株当たり3円とさせていただきます。

下半期の見通しと通期予想

上半期までの営業状況は、売上高・利益ともに期初の予想数値を上回っているものの、下半期の事業環境は、円安による輸入原材料価格の高騰が続き、化成品事業の業績改善もまだ時間を要する見込みです。

こうした状況を踏まえ、通期の連結業績については、今のところ期初の予想を変更せず、売上高530億円(前期比2.1%減)、営業利益9億円(同1.1%増)、経常利益9億5千万円(同2.2%減)、当期純利益6億円(同18.7%増)を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの長期的なご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

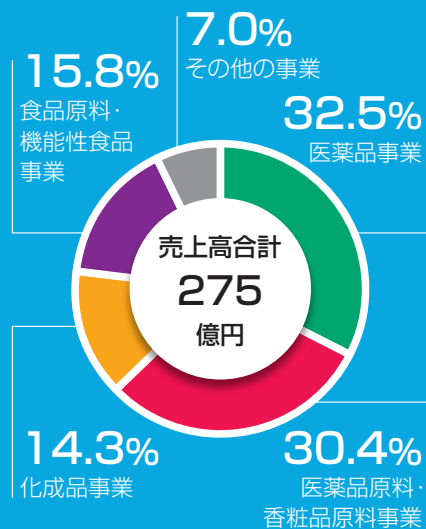


代表取締役社長 岩城 修

セグメント別の概況

当社グループは、医療用医薬品・一般用医薬品の製造および卸売、動物用医薬品・体外診断用医薬品・研究用試薬の卸売、保険薬局の経営、医薬品原料・化粧品原料・電子工業薬品・表面処理薬品・化成品・食品原料・プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売、表面処理薬品原料等・サプリメント原料の販売等の事業活動を展開しております。

■ 売上高構成比 (第76期第2四半期累計)



医薬品事業

■ 事業内容

医薬品の製造・販売、およびバイオ関連製品などの販売を行っております。

■ 事業会社

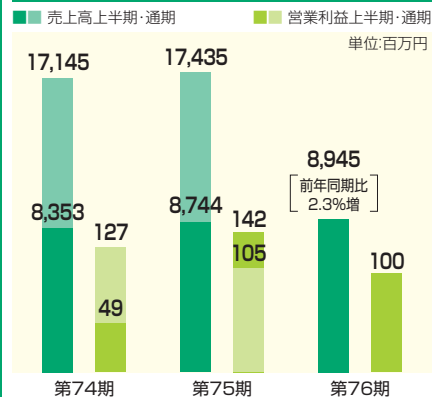
- イワキ(株) ● 岩城製薬(株)
- ホクヤク(株) ● (株)エイ・エム・アイ
- (株)パートナー・メディカル・システムズ



● 当上半期のポイント

- 医療用医薬品は、外皮用剤の抗真菌剤やアトピー性皮膚炎治療薬が好調に推移。
- 一般用医薬品は、訪日外国人旅行者の増加に伴う需要もあり堅調に推移。

売上高および営業利益の推移



医薬品原料・化粧品原料事業

■ 事業内容

医薬品原料および化粧品原料の製造・販売を行っております。

■ 事業会社

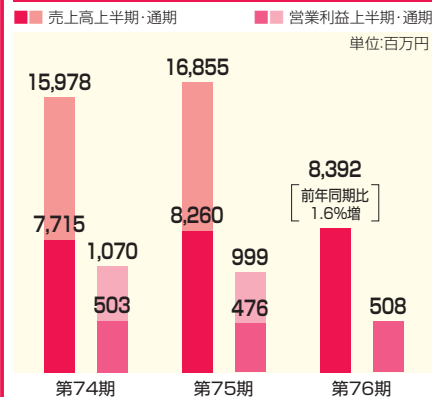
- イワキ(株)
- 岩城製薬(株)



● 当上半期のポイント

- 医療用医薬品原料は、ジェネリック医薬品原料が大幅に伸長。
- 一般用医薬品原料は、市場の低迷もあり、主力原料も含め低調に推移。
- 化粧品原料は、訪日外国人旅行者の増加に伴う最終製品の需要もあり、主力原料を含め好調に推移。

売上高および営業利益の推移



化成品事業

■ 事業内容

表面処理薬品の製造・販売、化学品原料および樹脂添加剤などの販売を行っております。

■ 事業会社

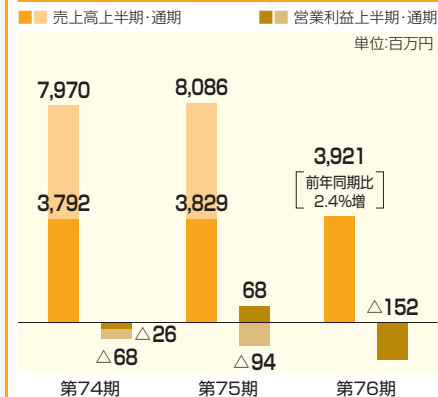
- イワキ(株) ● 岩城製薬(株)
- メルテックス(株)



● 当上半期のポイント

- 国内においてプリント配線板向け薬品が堅調に推移。海外においてチップ部品向け薬品が低調に推移。
- 輸入品を中心とした化学品原料は、特殊溶剤や表面処理薬品原料が堅調に推移したものの全体としては低調に推移。

売上高および営業利益の推移



食品原料・機能性食品事業

■ 事業内容

食品原料およびサプリメント原料などの製造・販売を行っております。

■ 事業会社

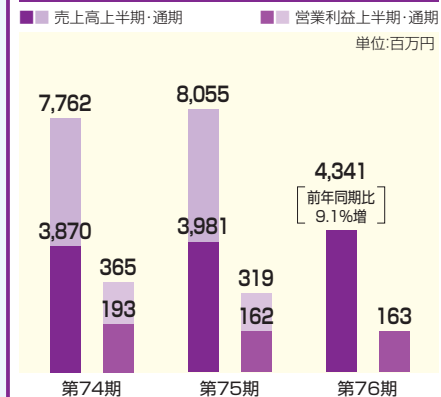
- イワキ(株)
- ポーエン化成(株)



● 当上半期のポイント

- 食品原料は、天然調味料や受託加工が低調に推移。
- サプリメント原料は、新たな機能性表示制度の開始を追い風に、取扱い原料の新規採用と受託原料の伸長により好調に推移。

売上高および営業利益の推移



その他の事業

■ 事業内容

当社グループは、医療機器の販売など、幅広い事業を展開しています。

■ 事業会社

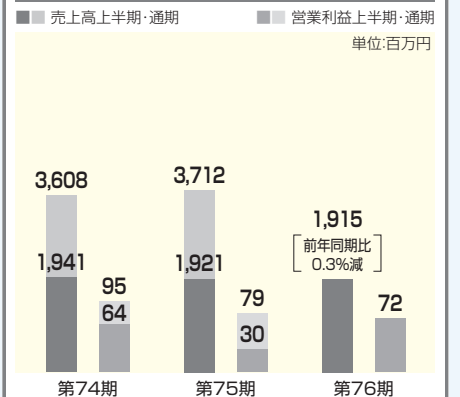
- メルテックス(株)
- 東京化工機(株)
- アプロス(株)



● 当上半期のポイント

- 当事業全体の売上高は19億1千5百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は7千2百万円(同134.6%増)となりました。

売上高および営業利益の推移



「未来への挑戦」を今期テーマに掲げ 医薬品、ファインケミカル両事業の将来基盤を 常に考えながら、さらなる成長を目指します。

Q 1 岩城製薬の事業内容をコーポレートスローガンとともにご紹介ください。

岩城製薬は、イワキグループの中核企業として医薬品事業およびファインケミカル事業の製造機能を担っています。

医薬品事業においては外用剤を中心としたジェネリック医療用医薬品やビタミンCなどの一般用医薬品を製造しています。

ファインケミカル事業においては、国内唯一の血管収縮剤、世界初の合成縮瞳剤、高品質なジェネリック医薬品原料や化成品などを製造しています。

私たちは、コーポレートスローガン「MY FIRST IWS

岩城製薬株式会社
代表取締役社長

伊藤 龍雄



「(ワケ)ヤク」のもと、社会、お取引先様、株主様、従業員およびその家族など全てのステークホルダーから「信頼を得て最初にコンタクトされる企業となること」を目指しています。

また、今期は「未来への挑戦」をテーマに掲げ、国の政策によるフォローの風を有効に活用し将来の事業基盤を常に見直し挑戦し続けています。

Q 2 医薬品および医薬品原料に関わる岩城製薬とイワキの関係をご説明願います。

岩城製薬が製造する医療用医薬品は、イワキを経由して医薬品卸に販売し、医療機関や調剤薬局に流通します。医師や薬剤師への医薬情報提供は、岩城製薬のMR（医薬情報担当者）が直接訪問し、行っています。

医薬品原料は、一部の製品については岩城製薬から製薬メーカーに直接販売していますが、全体の7割強についてはイワキを通して販売しています。海外向けの販売も同様です。

イワキが医薬品メーカーや医薬品卸との窓口となり、効率的な営業展開を行うことで、岩城製薬は研究開発や生産にリソースを集中できます。また、使用する原料の調達面においてもグループシナジーを発揮しています。

Q 3 今後に向けた経営課題とその取り組みについてお聞かせください。

岩城製薬の事業環境としては、引き続きジェネリック医薬品市場の成長が期待できます。一方医療用医薬品においては、高コストの小包装・低薬価品のニーズも高く、その安定供給を維持しながら収益性を確保していくことが大きな課題です。また医薬品原料においては高品質で競争力ある価格の製品をいかに安定的に増してゆくかが課題となっています。

私たちは、設備投資により生産能力を増強し、工場におけるコストダウンを図ったり、製造委託を推進することで生産効率を改善するとともに、高度な技術と経験を活かした製造受託にも注力して参ります。

岩城製薬とイワキグループの飛躍にご期待ください。



商号	岩城製薬株式会社
本社	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
本社分室	東京都中央区日本橋本町小網町19-8 IW日本橋ビル
創業	1931(昭和6)年1月28日
設立	1948(昭和23)年9月2日
事業内容	医療用医薬品、一般用医薬品、動物用医薬品、医薬品原料、医薬中間体、食品添加物、化粧品原料、情報記録材料用医薬品、染・顔料中間体の製造ならびに販売
生産拠点	蒲田工場(東京都大田区) 静岡工場(静岡県掛川市)



蒲田工場（内観）



静岡工場（外観）

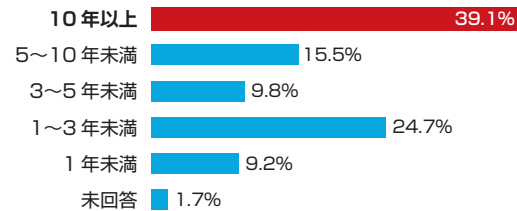
アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第3回目となる株主様アンケートも、数多くの株主の皆様方からご回答を頂き、厚く御礼申し上げます。頂きましたご意見は、得難い貴重な財産と考え、積極的に経営に活かしてまいります。集計結果や株主の皆様のお声の一部をここにご紹介いたします。

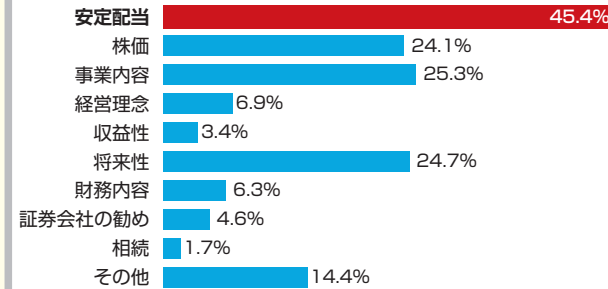
● 株主様アンケート回答者 ●

回答者数 **174名** (回収率=3.39%)

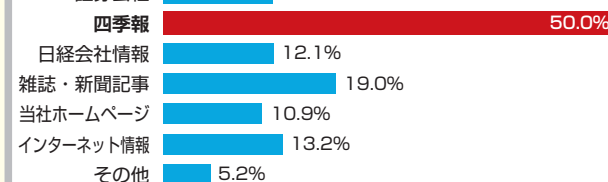
Q2 当社の株式の保有期間はどのくらいですか？



Q1 当社の株式を保有された理由は何ですか？【複数回答】



Q3 当社に関する情報収集の手段は具体的に何ですか？【複数回答】



「株主の皆様へ」（報告書）についての感想、当社に対し今後期待されること、その他ご意見・ご感想（一部抜粋）

- 子会社を報告書につけてほしい。販売費及び一般管理費の増加だけではわからない。(60代：自営業)
- 多様な業務を実施していることが判る。他社との競争性差別化が判るようにすればよい。(70代以上：会社員)
- 見やすい紙面。社会貢献活動に感心した。更に進めることを願う。(70代以上：一般株主)
- イメージが地味なのと IR 不足。もっと株価が評価されるよう改善を期待したい。(40代：会社員)
- 利益増で株主としての当然ですが株価の上昇が望み。(70代以上：農業)
- 業績の向上を願う、株価の上昇を願う。(70代以上：一般株主)
- 医薬品他身体への安全性を重視に続けてほしい。(70代以上：一般株主)
- 健康に関心が高まっているので活躍を期待しています。これからも応援していきたいと思えます。(60代：主婦・パート)
- 医療用医薬品の充実。イワキのアスコルビン酸愛用していますよ！(60代：医者・弁護士等)
- さらなる安定成長を期待します。(40代：自営業)



貴重なご意見ありがとうございます。株主の皆様のご期待にお応えできるよう、事業発展に邁進してまいります。

✚ 献血活動



4月に東京都赤十字血液センターのご協力のもと、本社にて献血活動を実施いたしました。今回も多くの社員が献血に協力いたしました。

🧹 中央区クリーンデー



毎年5月30日に「ゴミ(ゼロ)の日」を目指し、中央区と東京薬事協会の共催による「中央区クリーンデー」に参加いたしました。

♥ 救命講習受講優良証交付

◆ 救命講習受講優良証が交付されました

3月19日に王子消防署にて救命講習優良証を交付されました。東京消防庁管内の各事業所において職員の30%以上が「普通救命講習修了者」であれば救命講習受講優良証が交付されます。当社も事業所において該当者が44%以上に達しました。実際にAEDの操作などを経験して「いざ!」という時に行動できるようにしていきます。

なお、東京消防庁のホームページの救命講習受講優良証交付事業所の一覧表にも当社が掲載されています。



連結貸借対照表 (要旨) (単位: 百万円)

科 目	前期末 2014年11月30日現在	当第2四半期末 2015年5月31日現在	増減額
資産の部			
流動資産	27,266	26,995	△ 271
固定資産	12,449	12,823	373
資産合計	39,716	39,818	102
負債の部			
流動負債	18,633	18,233	△ 399
固定負債	3,703	3,727	24
負債合計	22,336	21,961	△ 375
純資産の部			
株主資本	16,353	16,505	152
その他の包括利益累計額	1,026	1,351	324
純資産合計	17,379	17,857	477
負債・純資産合計	39,716	39,818	102

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科 目	前第2四半期 (累計) 2013年12月1日から 2014年5月31日まで	当第2四半期 (累計) 2014年12月1日から 2015年5月31日まで	増減額
売上高	26,736	27,516	779
営業利益	614	398	△ 215
経常利益	581	493	△ 88
税金等調整前四半期純利益	578	490	△ 87
法人税、住民税及び事業税	233	225	△ 8
法人税等調整額	26	50	24
少数株主損益調整前四半期純利益	318	215	△ 103
四半期純利益	318	215	△ 103

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

1 資産合計

資産合計は前期末比102百万円増の39,818百万円となりました。総資産の増加の主な理由は、受取手形及び売掛金の減少226百万円、有価証券の減少209百万円、仕掛品の増加171百万円、投資有価証券の増加419百万円によるものです。

2 負債合計

負債合計は前期末比375百万円減の21,961百万円となりました。負債合計の減少の主な理由は、短期借入金の減少330百万円によるものです。

3 純資産合計

純資産合計は前期末比477百万円増の17,857百万円となりました。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の増加153百万円、その他有価証券評価差額金の増加306百万円によるものです。

4 売上高

医薬品事業では、抗真菌剤、アトピー性皮膚炎治療薬が拡大、ドラッグストア向け卸売りでは、インバウンド需要により免税店への販売が伸びました。機能性食品事業では、新たな機能性表示制度を追い風に、新規・既存原料が拡大し、売上高は前年同期比2.9%増の27,516百万円となりました。

5 営業利益・経常利益

原材料費、減価償却費増加に伴う売上原価の増加、また在外子会社における販売費及び一般管理費の増加が影響し、営業利益は前年同期比35.1%減の398百万円、経常利益は前年同期比15.3%減の493百万円となりました。

6 四半期純利益

法人税率等の引き下げに伴う法定実効税率変更により法人税等調整額が増加し、四半期純利益は前年同期比32.5%減の215百万円となりました。

● 会社概要

社名	イワキ株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
創業	1914年(大正3年)7月10日
設立	1941年(昭和16年)9月20日
資本金	25億72百万円(東証1部上場)
社員数	(単体) 266名 (連結) 922名
主な事業内容	医薬品事業 医療用医薬品・一般用医薬品の製造および卸売 動物用医薬品・体外診断用医薬品・研究用試薬の卸売 保険薬局の経営 医薬品原料・香粧品原料事業 医薬品原料・香粧品原料の製造および販売 化粧品OEM製造受託 化成事業 電子工業薬品・表面処理薬品・化成品の製造および販売 表面処理薬品原料等の販売 食品原料・機能性食品事業 食品原料の製造および販売 サプリメント原料の販売 サプリメントOEM製造受託 その他の事業 医療機器等の販売 プリント配線板等の製造プラントの製造および販売 化粧品の製造および販売
主な事業所在地	大阪支社 大阪府大阪市 富山支店 富山県富山市 名古屋支店 愛知県名古屋市 福岡支店 福岡県福岡市
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行

● 取締役および監査役

代表取締役社長	岩 城 修	常勤監査役	関 根 和 夫
取締役副社長	岩 城 慶太郎	常勤監査役	山 口 誠
常務取締役	伊 藤 龍 雄	監 査 役	吉 田 孝
常務取締役	藤 田 久	監 査 役	守 山 淳
常務取締役	大 森 伸 二		
取 締 役	鈴 木 俊 男		
取 締 役	藤 原 弘		
取 締 役	熱 海 正 昭		
取 締 役	鈴 木 陽 一		
取 締 役	越 智 大 藏		

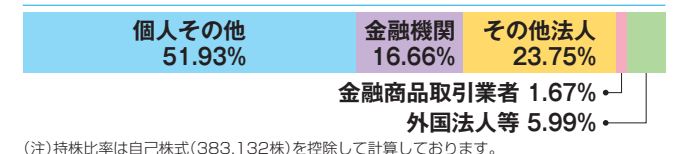
● 株式の状況

発行可能株式総数	136,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式383,132株を含む)	34,147,737株
株主数	5,231名

大株主 (上位10名)		
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治通商株式会社	2,007	5.94
有限会社ケーアイ社	1,764	5.23
株式会社ヘルスケア・キャピタル	1,551	4.59
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,188	3.52
岩城 修	970	2.87
イワキ従業員持株会	863	2.56
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	819	2.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	694	2.06
ダイソー株式会社	658	1.95
株式会社みずほ銀行	543	1.61

(注)持株比率は自己株式(383,132株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況 (所有者別分布状況)



(注)持株比率は自己株式(383,132株)を控除して計算しております。

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領 株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領 株主確定日	毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話: 0120-232-7111 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL: http://www.iwaki-kk.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

イワキの
ホームページでは、
様々な企業情報やIR情報を
お届けしています。
どうぞお気軽にアクセス、
ご利用ください！



▲ 各事業内容のご紹介は勿論のこと、当社
事業の強みや特徴などについても詳しく
ご説明しています。

例えば特別開設サイトとして



皆様方からのアクセスを
お待ちしております！

<http://www.iwaki-kk.co.jp/>



イワキ 株式会社

〒103-8403
東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号
電話：03-3279-0481



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。